

講演会場

開会の挨拶

9:00-9:05 講演会場

モーニングセミナー

9:05-10:05 講演会場

診療科横断的なNET診療！ NETハーモナイズの推進

座長：中本 裕士（京都大学医学部附属病院 放射線部）

三橋 智子（北海道大学病院 病理診断科）

共催：ノバルティスファーマ株式会社/富士フィルム 富山化学株式会社

MS-1 NETユニットによるDecision makingの利点とコツ
～ガイドラインでは対応できない症例に対して～48

増井 俊彦

京都大学医学研究科 肝胆膵・移植外科

MS-2 患者アウトカムの向上を目指した診療科横断的チーム医療 ～北大NET専門外来の経験から～50

土川 貴裕、平野 聡

北海道大学大学院 医学研究院 消化器外科学教室 II

シンポジウム

10:05-11:25 講演会場

Neuroendocrine neoplasms (NEN)の臓器横断的病理診断の確立に向けて

座長：島津 章（社会医療法人誠光会 草津総合病院 先進医療センター）

笹野 公伸（東北大学大学院医学系研究科医科学専攻病理病態学講座病理診断学分野）

緒言 神経内分泌腫瘍の病名統一への試み WHO/IARCの取り組み22

笹野 公伸

東北大学大学院医学系研究科医科学専攻病理病態学講座病理診断学分野

S-1 肺・縦隔に発生する神経内分泌腫瘍24

元井 紀子

国立がん研究センター中央病院 病理診断科

S-2 消化管における神経内分泌腫瘍の特徴26

河内 洋

がん研究会有明病院 病理部

特別発言 WHO消化管分類作成過程と胃神経内分泌腫瘍

九嶋 亮治

滋賀医科大学医学部臨床検査医学講座

S-3 膵臓・肝臓・胆嚢NENの病理診断28

大池 信之

昭和大学藤が丘病院 臨床病理診断科

S-4 婦人科領域の神経内分泌腫瘍－現在の分類と問題点30

高澤 豊

がん研究会 がん研究所 病理部

S-5 乳腺における神経内分泌腫瘍 Neuroendocrine mammary neoplasms32

川崎 朋範

埼玉医科大学国際医療センター 病理診断科

S-6 前立腺における神経内分泌腫瘍34

笹野 公伸

東北大学大学院医学系研究科医科学専攻病理病態学講座病理診断学分野

ご案内

プログラム

教育講演

シンポジウム

共催シンポジウム

共催セミナー

ポスター

ランチョンセミナー 12:35-13:25 講演会場

膵・消化管神経内分泌腫瘍(NEN)診療ガイドライン第2版 薬物治療についての解説

座長：伊藤 鉄英（福岡山王病院 膵臓内科・神経内分泌腫瘍センター/ 国際医療福祉大学 大学院医学研究科 消化器内科学）
共催：帝人ファーマ株式会社

LS	膵・消化管神経内分泌腫瘍(NEN)診療ガイドライン第2版 薬物治療についての解説52
	肱岡 範 国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科

施設代表者会議 13:35-14:25

教育講演 14:30-15:20 講演会場

座長：石川 雄一（国際医療福祉大学、(公財)がん研究会がん研究所）

ES	Harmonized classification of the neuroendocrine neoplasms20
	Günter Klöppel Department of Pathology, Konsultation Center for Pancreatic and Endocrine Tumors. Technical University of Munich, Germany

特別発言	Prognostic impact of the WHO2019 classification for digestive systems in lung neuroendocrine tumors
	Atsuko Kasajima Department of Pathology, Konsultation Center for Pancreatic and Endocrine Tumors. Technical University of Munich, Germany

共催シンポジウム1 15:25-16:25 講演会場

NETの臨床と病理 最前線

座長：青木 琢（獨協医科大学 第二外科）
肱岡 範（国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科）
共催：ファイザー株式会社/ノーベルファーマ株式会社

基調講演	膵NET G3と低分化型神経内分泌癌PDNECの病理診断とピットフォール36
	細田 和貴 愛知県がんセンター 遺伝子病理診断部

SS1-1	NET G3の治療戦略をReviewする38
	肱岡 範 国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科

SS1-2	治療選択の視点から考えたWHO2017年分類の意義40
	工藤 篤、田邊 稔 東京医科歯科大学 肝胆膵外科

総合討論	NET G3とNECの診断と治療について考える
	細田 和貴 愛知県がんセンター 遺伝子病理診断部 工藤 篤 東京医科歯科大学 肝胆膵外科

ご案内
プログラム
教育講演
シンポジウム
共催シンポジウム
共催セミナー
ポスター

共催シンポジウム2

16:30-17:30 講演会場

膵・消化管神経内分泌腫瘍(NEN)診療ガイドライン改定の要点

座長：今村 正之（関西電力病院 神経内分泌腫瘍センター）
 奥坂 拓志（国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科）
 共催：帝人ファーマ株式会社 メディカルサイエンス部

冒頭発言	膵・神経内分泌腫瘍診療ガイドライン第2版改訂に向けて42
	伊藤 鉄英 ^{1,2)} 1) 福岡山王病院 膵臓内科・神経内分泌腫瘍センター、2) 国際医療福祉大学大学院医学研究科 消化器内科
SS2-1	膵・消化管NEN診療ガイドライン改訂の要点 -外科治療-44
	土井 隆一郎 大津赤十字病院 外科
SS2-2	膵・消化管神経内分泌腫瘍診療ガイドライン第2版の改訂の要点: 内科・集学的治療46
	池田 公史 国立がん研究センター東病院 肝胆膵内科

閉会の挨拶

17:30-17:40 講演会場

ポスター会場

ポスター1

11:30-12:30 ポスター会場

肝

座長：仲田 興平（九州大学病院 第一外科）

- P1-1** 肺異型カルチノイド術後4年で単発の肝転移再発を呈し、根治切除を施行した1例54
中村 康弘¹⁾、松木 亮太¹⁾、深沢 智将¹⁾、磯部 聡史¹⁾、川口 翔平¹⁾、氣賀澤 秀明²⁾、船田 さやか²⁾、望月 眞²⁾、原 由紀子²⁾、小暮 正晴¹⁾、中里 徹矢¹⁾、鈴木 裕¹⁾、柴原 純二²⁾、森 俊幸¹⁾、阪本 良弘¹⁾
1) 杏林大学医学部付属病院肝胆膵外科、2) 杏林大学医学部付属病院病理部
- P1-2** 原発不明神経内分泌腫瘍肺内リンパ節転移切除18年後にカルチノイド症候群を呈して診断された肝腫瘍の一例54
保田 宏明¹⁾、小山 友季¹⁾、澤井 裕貴¹⁾、竹村 圭祐¹⁾、高田 智規¹⁾、提中 克幸¹⁾、諏訪 兼敏¹⁾、十亀 義生¹⁾、阪上 順一¹⁾、森村 玲²⁾、生駒 久視²⁾、大辻 英吾²⁾、菌部 優大³⁾、稲森 理³⁾、小西 英一³⁾、伊藤 義人¹⁾
1) 京都府立医科大学大学院医学研究科消化器内科学、2) 京都府立医科大学大学院医学研究科消化器外科、3) 京都府立医科大学大学院医学研究科人体病理学
- P1-3** 病理組織画像を用いた深層学習による膵神経内分泌腫瘍肝転移例の特徴抽出の試み55
渡辺 秀一¹⁾、工藤 篤¹⁾、鎌谷 高志²⁾、赤星 径一¹⁾、小倉 俊郎¹⁾、小川 康介¹⁾、小野 宏晃¹⁾、伴 大輔¹⁾、田中 真二³⁾、角田 達彦²⁾、田邊 稔¹⁾
1) 東京医科歯科大学肝胆膵外科、2) 東京医科歯科大学医科学数理分野、3) 東京医科歯科大学分子腫瘍医学分野
- P1-4** 肝臓に病変が限局した神経内分泌腫瘍の三例55
寺島 健志¹⁾、山下 竜也¹⁾、高田 昇¹⁾、荒井 邦明¹⁾、水腰 英四郎¹⁾、原田 憲一²⁾、金子 周一¹⁾
1) 金沢大学附属病院消化器内科、2) 金沢大学医薬保健研究域医学系人体病理学
- P1-5** 胆嚢に発生した神経内分泌癌(NEC)の1切除例56
今里 亮介、有働 竜太郎、西田 清孝、大城 幸雄、丸山 常彦、島崎 二郎、下田 貢、鈴木 修司
東京医科大学茨城医療センター消化器外科
- P1-6** B型肝炎既感染の経過観察中に診断された肝細胞癌との鑑別が困難であった肝原発神経内分泌腫瘍の1例56
緑川 泰¹⁾、小澤 祥成¹⁾、吉田 直¹⁾、寺本 賢一¹⁾、八木 廉平¹⁾、本間 琢²⁾、高山 忠利¹⁾
1) 日本大学医学部消化器外科、2) 日本大学医学部病理

ポスター2

11:30-12:30 ポスター会場

膵1

座長：清水 京子（東京女子医科大学 消化器内科）

- P2-1** 膵神経内分泌腫瘍に対する腹腔鏡下膵体尾部切除の検討57
八木 宏平、工藤 篤、前川 彩、村瀬 芳樹、石井 武、加藤 智敬、赤須 雅文、菅原 俊喬、渡辺 秀一、赤星 径一、小倉 俊郎、小川 康介、小野 宏晃、伴 大輔、田邊 稔
東京医科歯科大学医学部付属病院肝胆膵外科
- P2-2** 局所進行切除不能膵神経内分泌腫瘍に対して化学療法後にConversion surgeryを施行しえた一例57
高田 良司¹⁾、池澤 賢治¹⁾、清田 良介¹⁾、今井 俊裕¹⁾、阿部 友太郎¹⁾、福武 伸康¹⁾、名和 誉敏¹⁾、蘆田 玲子³⁾、片山 和宏^{1,3)}、藤井 渉²⁾、飛鳥井 慶²⁾、山田 大作²⁾、高橋 秀典²⁾、長田 盛典⁴⁾、大川 和良¹⁾
1) 大阪国際がんセンター肝胆膵内科、2) 大阪国際がんセンター消化器外科、3) 大阪国際がんセンター消化器検診科、4) 大阪国際がんセンター病理診断科
- P2-3** 多発膵神経内分泌腫瘍に対するEUSによる局在診断能58
栗田 裕介^{1,4)}、佐藤 高光¹⁾、長谷川 翔¹⁾、細野 邦広¹⁾、小林 規俊²⁾、窪田 賢輔¹⁾、市川 靖史²⁾、遠藤 格³⁾、原 和生⁴⁾、中島 淳¹⁾
1) 横浜市立大学附属病院肝胆膵消化器病学、2) 横浜市立大学附属病院臨床腫瘍科、3) 横浜市立大学附属病院消化器腫瘍外科、4) 愛知県がんセンター消化器内科

ご案内

プログラム

教育講演

シンポジウム

共催シンポジウム

共催セミナー

ポスター

P2-4	NET-G2とcarcinomaによるmixed neuroendocrine non-neuroendocrine neoplasm(MiNEN)と診断した一例58 川平 真知子 ¹⁾ 、岩屋 博道 ¹⁾ 、樋之口 真 ¹⁾ 、小牧 祐雅 ¹⁾ 、有馬 志穂 ¹⁾ 、田ノ上 史郎 ¹⁾ 、 佐々木 文郷 ¹⁾ 、橋元 慎一 ¹⁾ 、上村 修司 ¹⁾ 、東 美智代 ²⁾ 、井戸 章雄 ¹⁾ 1) 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科消化器疾患・生活習慣病学、 2) 鹿児島大学大学院医歯学域医学系総合研究科先進治療科学専攻腫瘍学講座病理学分野
P2-5	PanNETに対する腹腔鏡下手術の検討59 友杉 隆宏、大塚 隆生、谷口 隆之、木村 隆一郎、岡山 卓史、渡邊 雄介、森 泰寿、池永 直樹、 仲田 興平、中村 雅史 九州大学大学院医学研究院臨床・腫瘍外科
P2-6	膵神経内分泌腫瘍における門脈内腫瘍塞栓についての検討59 加藤 智敬、工藤 篤、赤星 径一、小倉 俊郎、小川 康介、小野 宏晃、田邊 稔 東京医科歯科大学肝胆膵外科
P2-7	術前に膵原発神経内分泌腫瘍と鑑別を要したParagangliomaの1例60 丹羽 弘貴 ¹⁾ 、土川 貴裕 ¹⁾ 、田中 公貴 ¹⁾ 、中西 喜嗣 ¹⁾ 、浅野 賢道 ¹⁾ 、海老原 裕磨 ¹⁾ 、倉島 庸 ¹⁾ 、 野路 武寛 ¹⁾ 、中村 透 ¹⁾ 、村上 壮一 ¹⁾ 、岡村 圭祐 ¹⁾ 、七戸 俊明 ¹⁾ 、岡田 宏美 ²⁾ 、平野 聡 ¹⁾ 1) 北海道大学大学院医学研究院消化器外科学教室II、2) 北海道大学病院病理診断科

ポスター3	11:30-12:30 ポスター会場
--------------	--------------------

膵2

座長：上本 伸二（京都大学 肝胆膵・移植外科）

P3-1	内科的加療で低血糖を制御し得た高齢発症悪性インスリノーマの一例61 松本 一秀 ¹⁾ 、藤森 尚 ¹⁾ 、末廣 侑大 ¹⁾ 、村上 正俊 ¹⁾ 、寺松 克人 ¹⁾ 、高松 悠 ¹⁾ 、高岡 雄大 ¹⁾ 、 大野 隆真 ¹⁾ 、伊藤 鉄英 ^{2,3)} 、小川 佳宏 ¹⁾ 1) 九州大学大学院医学研究院病態制御内科学、2) 福岡山王病院神経内分泌腫瘍センター、 3) 国際医療福祉大学大学院医学研究科消化器内科
P3-2	神経内分泌腫瘍に対するランレオチドの効果指標について61 村瀬 芳樹、工藤 篤、八木 宏平、前川 彩、石井 武、加藤 智敬、赤須 雅文、菅原 俊喬、 渡辺 秀一、赤星 径一、小倉 俊郎、小川 康介、小野 宏晃、伴 大輔、田邊 稔 東京医科歯科大学肝胆膵外科
P3-3	切除不能膵神経内分泌腫瘍に対するTS-1/weekly STZ併用療法の臨床的有用性62 小野 宏晃 ¹⁾ 、工藤 篤 ¹⁾ 、前川 彩 ¹⁾ 、八木 宏平 ¹⁾ 、村瀬 芳樹 ¹⁾ 、渡邊 秀一 ¹⁾ 、赤星 径一 ¹⁾ 、 小川 康介 ¹⁾ 、小倉 俊郎 ¹⁾ 、伴 大輔 ¹⁾ 、田中 真二 ²⁾ 、田邊 稔 ¹⁾ 1) 東京医科歯科大学肝胆膵外科、2) 東京医科歯科大学分子腫瘍医学
P3-4	十二指腸乳頭部に発生したNETの一例62 黒澤 貴志、祖父尼 淳、土屋 貴愛、石井 健太郎、田中 麗奈、殿塚 亮祐、本定 三季、 向井 俊太郎、永井 一正、山本 健治郎、小嶋 啓之、糸井 隆夫 東京医科大学病院臨床医学系消化器内科学部門
P3-5	教室におけるインスリノーマの治療成績63 前橋 学、三宅 謙太郎、平井 公也、山田 淳貴、阿部 有佳、朴 峻、清水 康博、中山 岳龍、 藪下 泰宏、本間 祐樹、熊本 宜文、松山 隆生、遠藤 格 横浜市立大学医学部消化器腫瘍外科学
P3-6	膵神経内分泌腫瘍の切除例における術前組織診断と術後病理診断でのGrade分類の相違に関する 検討63 仲野 健三、増井 俊彦、江本 憲央、余語 覚匡、内田 雄一郎、長井 和之、穴澤 貴行、高折 恭一、 上本 伸二 京都大学肝胆膵・移植外科

上部消化管

座長：岩淵 三哉（新潟大学大学院保健学研究科）

- P4-1 当科で経験した胃MANECの2例**
大塚 和令¹⁾、酒寄 真人¹⁾、伊藤 しげみ²⁾、佐藤 郁郎²⁾、村川 康子¹⁾
1) 宮城県立がんセンター腫瘍内科、2) 宮城県立がんセンター病理診断科
- P4-2 当科における消化管神経内分泌腫瘍115例の検討** 64
石井 武、工藤 篤、八木 宏平、前川 彩、村瀬 芳樹、菅原 俊喬、赤須 雅文、加藤 智敬、
渡辺 秀一、赤星 径一、小倉 俊郎、小川 康介、小野 宏晃、伴 大輔、田邊 稔
東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科肝胆膵外科
- P4-3 残胃に発生した早期胃MANECの1例** 65
加来 秀彰、青柳 慶史郎、田中 侑哉、南 泰山、磯邊 太郎、木崎 潤也、村上 直孝、赤木 由人
久留米大学医学部外科学講座
- P4-4 「JNETS 食道原発神経内分泌癌プロジェクト」進捗報告** 65
奥村 知之¹⁾、藤井 努¹⁾、嶋田 裕²⁾、小澤 壯治³⁾、松原 久裕⁴⁾、上本 伸二⁵⁾、幕内 博康³⁾、今村 正之⁶⁾
1) 富山大学医学薬学研究部消化器・腫瘍・総合外科、2) 京都大学ナノバイオ医薬創成科学、3) 東海大学消化器外科、
4) 千葉大学先端応用外科、5) 京都大学肝胆膵・移植外科、6) 関西電力病院
- P4-5 膵・十二指腸非機能性神経内分泌腫瘍のリンパ節転移形式と術式選択に対する考察** 66
山口 洋志、木村 康利、今村 将史、永山 稔、村上 武志、及能 大輔、伊東 竜哉、信岡 隆幸、
竹政 伊知朗
札幌医科大学消化器・総合、乳腺・内分泌外科
- P4-6 当院で経験した消化管原発mixed adenoneuroendocrine carcinoma (MANEC)の2例について
の報告** 66
木下 和也、加野 将之、村上 健太郎、坂田 治人、豊住 武司、松本 泰典、岡田 晃一郎、白石 匡、
鎌田 敏希、龍崎 貴寛、松原 久裕
千葉大学大学院医学研究院先端応用外科学
- P4-7 切除により長期生存が得られた十二指腸乳頭部神経内分泌癌の2例** 67
富丸 慶人^{1,2)}、吉岡 亮¹⁾、野口 幸蔵¹⁾、清水 潤三¹⁾、江口 英利²⁾、堂野 恵三¹⁾
1) 市立豊中病院 消化器外科、2) 大阪大学 消化器外科

下部消化管

座長：絹笠 祐介（国立大学法人東京医科歯科大学 消化管外科学分野）

- P5-1 直腸NETのリンパ節転移のリスク因子の検討** 68
岡崎 直人¹⁾、渡邊 充¹⁾、和田 貴宏¹⁾、石崎 哲央¹⁾、榎本 正統¹⁾、的場 周一郎²⁾、勝又 健次¹⁾、
土田 明彦¹⁾
1) 東京医科大学病院消化器小児外科学分野、2) 虎の門病院消化器外科
- P5-2 内視鏡的切除後長期間経過観察後に異時性肝転移再発をきたした直腸神経内分泌腫瘍の3症例** ... 68
羽根 佑真、土川 貴裕、田中 公貴、中西 喜嗣、浅野 賢道、野路 武寛、倉島 庸、海老原 裕磨、
村上 壮一、中村 透、岡村 圭祐、七戸 俊明、平野 聡
北海道大学大学院医学院医学研究院消化器外科学教室 II
- P5-3 当科における大腸神経内分泌腫瘍のリンパ節転移因子についての検討** 69
藤川 馨、能浦 真吾、野口 幸蔵、柳本 喜智、高橋 佑典、広田 将司、大島 一輝、谷田 司、
清水 潤三、川瀬 朋乃、今村 博司、赤木 謙三、岩澤 卓、堂野 恵三
市立豊中病院外科

P5-4	オクトレオスキャンのみで診断され放射線治療で病勢コントロールされている直腸NEN骨転移の一例69 竹村 信行 ¹⁾ 、伊藤 橋司 ¹⁾ 、稲垣 冬樹 ¹⁾ 、三原 史規 ¹⁾ 、高橋 道郎 ²⁾ 、池田 真美 ²⁾ 、赤松 雅俊 ³⁾ 、兼平 千裕 ⁴⁾ 、國土 典宏 ¹⁾ 1) 国立国際医療研究センター 肝胆膵外科、2) JR東京総合病院外科、3) JR東京総合病院消化器内科、4) JR東京総合病院放射線科
P5-5	GEP-NENのリンパ節転移診断におけるソマトスタチン受容体シンチグラフィの有用性70 青木 佑磨 ¹⁾ 、土川 貴裕 ¹⁾ 、田中 公貴 ¹⁾ 、中西 善嗣 ¹⁾ 、浅野 賢道 ¹⁾ 、野路 武寛 ¹⁾ 、中村 透 ¹⁾ 、岡村 圭祐 ¹⁾ 、宗像 大和 ³⁾ 、孫田 恵一 ³⁾ 、平田 健司 ²⁾ 、七戸 俊明 ¹⁾ 、志賀 哲 ²⁾ 、平野 聡 ¹⁾ 1) 北海道大学大学院消化器外科学教室Ⅱ、2) 北海道大学病院 核医学診療科、3) 北海道大学病院 医療技術部 放射線部門
P5-6	集学的治療により比較的長期生存している小腸神経内分泌腫瘍の1例70 山村 真弘 ¹⁾ 、堀口 繁 ²⁾ 、河本 泉 ³⁾ 、堅田 洋佑 ¹⁾ 、佐野 史典 ¹⁾ 、谷岡 洋亮 ¹⁾ 、岡脇 誠 ¹⁾ 、永坂 岳司 ¹⁾ 、山口 佳之 ¹⁾ 1) 川崎医科大学附属病院 臨床腫瘍科、2) 岡山大学病院 消化器内科、3) 関西電力病院 消化器外科
P5-7	直腸NETの術前検査におけるリンパ節転移診断に関する検討71 清住 雄希、福長 洋介、向井 俊貴、長壽 寿矢、山口 智弘、秋吉 高志、小西 毅、長山 聡、上野 雅資 がん研究会有明病院 消化器外科

ポスター6

11:30-12:30
ポスター会場

一般

座長：長村 義之（日本鋼管病院 病理診断科/国際医療福祉大学大学院）

P6-1	GI-NETにおけるGLUT2, MGMTの発現動態72 渡邊 裕文 ¹⁾ 、藤島 史喜 ¹⁾ 、肱岡 範 ²⁾ 、今村 正之 ³⁾ 、河本 泉 ³⁾ 、谷田部 恭 ⁴⁾ 、笹野 公伸 ¹⁾ 1) 東北大学大学院病理診断学分野、2) 国立がん研究センター、3) 関西電力病院、4) 愛知がんセンター
P6-2	切除不能神経内分泌腫瘍に対するペプチド受容体放射性核種療法(PRRT)の治療効果72 小林 規俊 ¹⁾ 、大久保 直紀 ¹⁾ 、竹田 雄馬 ¹⁾ 、徳久 元彦 ¹⁾ 、廣島 幸彦 ¹⁾ 、後藤 歩 ¹⁾ 、高野 祥子 ²⁾ 、市川 靖史 ¹⁾ 1) 横浜市立大学附属病院臨床腫瘍科、2) 横浜市立大学附属病院放射線治療部
P6-3	当院における神経内分泌癌(NEC)に対する化学療法の治療成績73 大久保 直紀、小林 規俊、竹田 雄馬、徳久 元彦、廣島 幸彦、後藤 歩、市川 靖史 横浜市立大学附属病院臨床腫瘍科
P6-4	原発巣と肝転移巣を切除し得た神経内分泌腫瘍における、Ki-67指数の比較検討73 古川 貴光、尾阪 将人、三重 堯文、澤田 雅志、谷口 孝伸、春日 章良、金田 遼、武田 剛志、佐々木 隆、松山 真人、笹平 直樹 がん研有明病院肝胆膵内科
P6-5	骨髄癌腫症を合併した胆嚢原発NECに対しシスプラチン・エトポシド療法によって臨床的有用性を得られた一例74 横山 和樹 ¹⁾ 、肱岡 範 ¹⁾ 、森実 千種 ¹⁾ 、関根 匡成 ²⁾ 、吉成 元宏 ¹⁾ 、久田 裕也 ¹⁾ 、丸木 雄太 ¹⁾ 、大場 彬博 ¹⁾ 、永塩 美邦 ¹⁾ 、近藤 俊輔 ¹⁾ 、上野 秀樹 ¹⁾ 、奥坂 拓志 ¹⁾ 1) 国立がん研究センター中央病院肝胆膵内科、2) 自治医科大学附属さいたま医療センター
P6-6	everolimusの治療成績の解析74 赤須 雅文 ¹⁾ 、工藤 篤 ¹⁾ 、八木 宏平 ¹⁾ 、前川 彩 ¹⁾ 、村瀬 芳樹 ¹⁾ 、石井 武 ¹⁾ 、加藤 智敬 ¹⁾ 、菅原 俊喬 ¹⁾ 、渡辺 秀一 ¹⁾ 、赤星 径一 ¹⁾ 、小倉 俊郎 ¹⁾ 、小川 康介 ¹⁾ 、小野 宏晃 ¹⁾ 、伴 大輔 ¹⁾ 、田中 真二 ²⁾ 、田邊 稔 ¹⁾ 1) 東京医科歯科大学 肝胆膵外科学分野、2) 東京医科歯科大学 分子腫瘍医学分野
P6-7	化学放射線療法後の再発に対してPembrolizumab治療中に小細胞癌への転化を認めた非小細胞肺癌の一例75 荒川 さやか ¹⁾ 、吉田 達哉 ¹⁾ 、元井 紀子 ²⁾ 、大江 裕一郎 ¹⁾ 1) 国立がん研究センター中央病院呼吸器内科、2) 国立がん研究センター中央病院病理診断科